

学年便り

第 26 号

平成 23 年 7 月 1 日

緑岡高校第 3 学年

※部活動の引退と受験勉強の開始

この 2 ヶ月が勝負だ

インターハイ予選が終わりました。3年間の集大成として完全燃焼できましたか。いつまでも後悔しては、何も進みません。いよいよ、本格的に受験勉強に突入です。職員室では各教科の先生に質問をする生徒が目立ってきました。そういう生徒に平日の学習時間を聞くと、「5時間くらいです。」と答えが返ってきます。数ヶ月前には、あり得ないことでした。やっと、本来の高校3年生になってきた気がします。

さて、7、8月は受験生にとって一番大事な時期です。特に、受験生にとって夏休みをどのように過ごすかが鍵となります。この2ヶ月で基本をあせらずに学習して基礎的事項をマスターしましょう。土台の基本がしっかりしていなくては、応用力はつきません。秋以降の学力の伸び具合が大きく左右されます。それを実行するには、まず、規則正しい生活をするように心がけることです。夏休みは生活パターンが乱れがちになります。夏をどう過ごすかで、この1年が大きく変わると言っても過言ではありません。そこで「規則正しい生活をする」ために、学校での課外や予備校の夏期講習への参加です。また、学校の学習室や県立、市立の図書館の利用です。毎日同じ時間に家を出て、決められた時間に学習することで生活のリズムが生まれます。一日中一人で家の中で学習するよりも、受験という同じ目標に向かって努力している仲間たちと机を並べて学習することで、緊張感のある時間を過ごすことができます。

夏休みの学習時間の調査(河合塾生)によると1日8時間程度がひとつの目安です。成績上位者ほど10時間、11時間以上学習しています。また、自宅での学習時間帯ですが、上位者ほど深夜型(22～2時)が少なく、夜型(～0時頃)が多いようです。深夜は静かで学習しやすいという声もありますが、一方で一日中酷使してきた「頭」が深夜に活発に働くということは考えにくいです。疲れた頭で無理に続けても、かけた時間ほどの効果は得られません。適度な時間に切り上げて翌日に備える「夜型」の方が効率的です。また、「集中して学習できる時間はどのくらいか？」の質問については、「1時間30分」が一番多く、次が「2時間」、「1時間」の順です。実際、集中力が続くのは1時間30分程度というデータもあります。上手に休憩を入れながら学習すれば効率も上がることでしょ

センター試験の変更について

今年からの変更点は、地歴・公民、理科の受験です。6/8の朝日新聞朝刊の記事(裏面)をよく読んでください。7/31までにすべての大学から募集要項が発表されるので、記事にもあるようにまだ大学によって変更があることが十分考えられます。今後の希望大学のニュースには注意しててください。

大学説明会に参加することも、意義があると思います。あと1年以上もあると思っていた2年生時のオープンキャンパスとは違った気持ちに必ずなります。筑波大は学部によって、7/23、24、30、31、8/27の5日間、県立医療大は同じ内容で7/3、8/6の2日間など、いろいろですから自分でよく調べてください。

模試の返却と7月の模試2回

5/7(土)受験の河合塾記述模試が返却されました。この模試は実施期間が長く、早い時期に受けたため、返却が今になりました。3年生になって最初の模試、……、どんな反省がありますか？

まず、全国偏差値は2年生の時と比べて下がったと思います。浪人生が参加していることの影響もあるし、全国の進学校の今回からの参加もあります。強力なライバルの参戦です。まだまだ、理科や数学などの演習の量が圧倒的に不足しています。あせることはないけれども、勉強の時間を増やさないことにはどうにもなりません。『受験生は食べているか、寝ているか、勉強しているか、の3つのうちの1つをしている』そうです。それ以外の無駄な時間の浪費は自分にとって損です。

合格した多くの生徒が模試で解けなかった問題を解き直しています。それをまとめた解き直しノートを本番の受験直前の学習に利用できるように工夫してみましょう。

7月の行事予定

- 4日(月)～ 7日(木) 第2回定期考査
- 9日(土) 進研記述模試
- 14日(木)～21日(木) 保護者面談
- 14日(木) ⑤交通・薬物講話
- 15日(金) ⑥生徒会役員選挙
- 22日(金) 授業①～③、集会
- 23日(土)～8/17日(水)
夏期課外(英数国・理社)
- 31日(日) 河合全統マーク模試
(茨大会場)